

令和2年度大豆作況試験生育状況（9月1日付け調査結果）

[生育概況]

8月中旬以降，平年より高温・多照となり，降水量も平年を下回った(表1)。

標播は，主茎長と主茎節数は全ての品種で概ね平年並となった。タンレイは，分枝数が平年よりやや少なく，総節数と着莢節数も平年を下回った。タチナガハは，分枝数が平年をやや上回ったものの，総節数と着莢節数は平年を下回った。ミヤギシロメは，分枝数が平年を上回り，総節数は平年並であったものの，着莢節数は平年を上回った(表2)。ミヤギシロメは蔓化し，8月上旬頃から倒伏が進んだ。

晩播は，主茎長が平年よりも短くなったが，主茎節数や分枝数は平年並となった。総節数が平年よりもやや少なくなったものの，着莢節数は平年並となった(表2)。

表1 旬別の気象経過（アメダス古川）

項目	月・旬	5月		6月			7月			8月	
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平均気温	本年値(°C)	16.8	20.9	21.5	19.7	21.5	19.8	21.9	24.4	26.6	25.5
	平年差(°C)	+0.8	+3.3	+2.9	+0.3	+1.0	-2.0	-1.5	+0.1	+2.7	+2.4
積算日照時間	本年値(h)	74.9	95.1	63.7	24.1	14.0	9.2	18.5	38.5	84.3	59.6
	平年比(%)	108	160	128	61	37	26	37	78	202	120
積算降水量	本年値(mm)	18.0	0.5	16.0	23.5	147.5	113.0	105.5	43.5	17.0	7.5
	平年比(%)	49	2	38	41	252	189	226	119	42	11

表2 9月1日付け調査結果（9月2日調査）

播種期	品種名	開花期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)	着莢節数 (節/本)	
標播 (5/26)	タンレイ	本年値	7/23	84	15.8	4.1	40	27
		前年差	7日早	-3	-0.6	-0.8	-7	-7
		平年差	2日早	+0	-0.9	-0.6	-8	-6
	タチナガハ	本年値	7/26	90	17.1	5.6	43	29
		前年差	4日早	-14	+0.1	+0.4	-4	-4
		平年差	1日遅	+1	-0.3	+0.6	-7	-6
ミヤギシロメ	本年値	8/3	115	18.7	6.7	57	34	
	前年差	同日	-12	-0.4	+2.1	-1	+3	
	平年差	2日遅	-8	-0.9	+1.9	-3	+9	
晩播 (7/3)	タンレイ	本年値	8/13	54	12.6	2.4	22	16
		前年差	2日遅	-22	-0.4	-0.0	-2	-0
		平年差	2日遅	-19	-0.2	-0.1	-2	+1

注1) 平年値はH29を除く過去5か年の平均値(着莢節数はH28-H29を除く過去4か年の平均値)とする

2) 栽植密度の設定は，標播が条間75cm×株間20cm，晩播が条間75cm×株間10cmとした(1株2粒播種)

令和2年度大豆生育調査ほ生育状況（9月1日付け調査結果）

表3 9月1日付け調査結果

標・晩	品種名	普及 センター	播種期 (月/日)	開花期 (月/日)	主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)		
					本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	タンレイ	仙台	6/2	7/25	90	+20	-	15.0	-0.7	-	2.7	-1.7	-
		栗原	6/3	7/31	92	-	-	16.0	-	-	2.9	-	-
	タチナガハ	登米	6/8	8/6	77	-19	-3	15.0	-1.6	-0.3	4.4	-0.6	+0.4
標播		大河原	6/23	8/12	36	-30	-34	12.0	-1.6	-2.9	3.4	+1.7	-0.1
		仙台	6/2	8/4	96	+41	-	17.3	+3.0	-	5.0	+0.2	-
	ミヤギ シロメ	栗原	6/2	8/10	90	-11	-2	16.3	-0.9	-1.0	4.3	+0.7	+0.9
		登米	6/7	8/11	57	+11	-21	15.5	+1.8	-0.5	3.2	-0.6	-1.1
		石巻	6/5	8/9	77	+25	-5	15.0	+2.0	-1.0	4.7	+2.0	+0.7
晩播	タンレイ	石巻	6/13	7/29	61	-1	-7	13.0	-1.4	-1.3	2.7	-0.5	-0.6
	あやこがね	大河原	6/18	8/11	24	-23	-20	10.0	-3.0	-3.2	1.3	-1.4	-1.7

注1) 平年差はH29を除く過去5か年の平均値との差を示す

2) 仙台の「タンレイ」と「ミヤギシロメ」の平年値および栗原の「タンレイ」の前年値と平年値は調査ほの変更等のためない